

NANTAN

119だより

NANTAN
FIRE DEPARTMENT
2017

No. 13



▲トライやるウィーク(八鹿青溪・大屋・関宮・和田山・朝来中学校)

災害状況



平成29年
6月20日現在

- ・火災… 13件
- ・救急… 1,484件
- ・救助… 30件

主な内容

特集 風水害から身を守るために …… 2・3

- ◆ トライやるウィーク
消防ふれあい祭り …… 4
- ◆ 林野火災合同訓練・航空隊合同訓練
人命救助表彰(八鹿町九鹿火災)
平成29年度兵庫県危険物安全・安心大会
養父市婦人防火クラブの活動紹介 …… 5
- ◆ 消防写真館
消防白書・火災調査レポート …… 6・7
- ◆ お知らせ …… 8

住宅用火災警報器が大切な「命」「財産」を守ります!

- 寝室(子供部屋含)や寝室が2階以上にある場合は階段に必ず取り付けましょう。
- 設置しておよそ10年が交換の目安です。



風水害から身を守るために ～出来る準備はしっかりと～

平成16年10月に発生した台風23号は、日本列島に大きな被害をもたらしました。この台風による全国の死者は95人で、兵庫県下では26人の方が犠牲となりました。但馬地方も各地で大きな被害があったなか、特に豊岡市では大量の雨で円山川が越水し、弱体化した堤防が決壊したため、市街地が広範囲にわたり水没し、市民の約4割にあたる1万8000人が被災しました。これからこの様な台風や集中豪雨による風水害が発生しやすい時季となります。そこで今回は風水害から身を守るための対策について考えてみましょう。



台風や

集中豪雨に備える

台風とは、熱帯の海上で生まれた低気圧です。そのうち最大風速が毎秒17・2メートル以上のものが「台風」と呼ばれます。

また、集中豪雨とは短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことで、梅雨の終わりごろによく起こります。過去にも日本各地で河川の氾濫や土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害が発生しています。もし、あなたが屋外で次のような前兆を確認したら要注意です。

- ・ 川の近くにいる時、まわりの空が真っ黒になった。
- ・ 雷鳴や稲妻を確認した。
- ・ 大粒のひょうが降り出した。

・ 川の近くで警告のサイレン音がした。

◇日頃の備え

台風や豪雨の襲来は予測できるからといって安易に考えるのは危険です。風水害による被害を最小限にするためには、普段から

- ・ 避難場所や避難経路の確認をする。
- ・ 非常持ち出し品の点検をする。
- ・ 過去におきた水害や土砂災害を確認する。

等が大切です。

日頃からの備えは、いざという時の判断や行動に生きてくる重要な防災対策です。避難に関する情報が出てからでは非常持ち出し品を詰めている時間はありません。

また、住んでいる地域で過去に水害や土砂災害があったかどうかを把握しておくことが有効です。但し、過去に経験のない災害が起きる事もあるので注意が必要です。

◇防災気象情報で

早めの対策

- ・ 最新の気象情報をチェック。大雨警報や洪水警報などの防災気象情報や避難情報は、テレビ、ラジオの速報、ケー

ブルテレビの告知放送他、天気予報サービス、南但消防本部のホームページやスマートフォンアプリなどでも確認できます。これらの情報を活用して危険が迫る前に早めに避難を開始しましょう。

なお、まわりが浸水している場合の避難は非常に危険です。状況によっては無理に屋外に避難せず、まず2階など家の中の高い所に移動するのも有効です。

土砂災害から

身を守るために

雨で地盤がゆるむと土砂災害が発生しやすくなります。土砂災害の発生を予測するのは難しいものですが、前兆がみられる場合があります。身近に土砂災害の危険箇所があり、次のような前兆を確認した場合は早めに避難しましょう。

◇がけ崩れ

雨水がしみ込んでやわらかくなった斜面は急に崩れ落ちる場合があります。日本で最も多い災害で、民家の近くでも突然起きるため、逃げ遅れて犠牲になる人も多い災害です。

- かけからの水がにこる。
- 地下水やわき水がとまる。
- 斜面のひび割れ、変形がある。

- 小石が落ちてくる。
- かけから音がする。
- 異様なにおいがする。

◇地すべり

地盤が弱い土地に豪雨が降り、ゆるくなつた斜面が、下方へ移動する現象です。

ひとたび発生すると家や道路、鉄道など広い範囲に影響を与えます。

- 地面にひび割れができる。
- 井戸や沢の水がにこる。
- かけや斜面から水がふき出す。

- 家やよう壁に亀裂が入る。
- 家やよう壁、樹木、電柱が傾く。

◇土石流

長雨や集中豪雨などで、山腹や谷川の石や土砂が一気に下流に押し流されます。

勢いが強く圧倒的な速さで進行方向にある物をのみ込み、壊していきます。

- 山鳴りがする。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

- 川の水がにごったり流木がまぎったりする。

土砂災害警戒情報

大雨等により土砂災害の危険が高まったとき、都道府県と気象庁が共同で「土砂災害警戒情報」を發表します。

都道府県が指定する「土砂災害危険区域」や「土砂災害特別警戒区域」にお住まいの方は、特に注意が必要です。ハザードマップなどで自分の住んでいる地域を確認してください。

家で備えたい 風水害対策

台風の直撃、接近が予想される時あなたのお家は大丈夫ですか？家の内外の対策を考えてみましょう。

◇雨どい

継ぎ目のはずれや腐りがなければ確認し、落葉や土砂が詰まらないよう掃除をしておく。

◇ベランダ

鉢植えや物干しざおなど飛散の危険があるものは屋内へ移動する。

◇雨戸

ガタつきやゆるみがあれば補強する。

◇側溝

側溝のゴミや土砂は取り除き、排水を良くしておく。

◇屋根

瓦のひび、割れ、ずれ、はがれ、トタンのめくれがないかを確認しておく。

◇外壁

モルタル壁に亀裂はないか、板壁に腐りや浮きはないか、プロパンガスボンベはしっかりと固定されているか確認する。

◇窓ガラス

ひび割れ、窓枠のがたつき

はないか確認し、強風による飛来物に備えて、外側から板でふさいでおく。ガラスが割れたときに破片が飛び散らないようにカーテンを閉めておく。

◇ブロック塀

ひび割れや破損箇所は補強しておく。

◇屋内

停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオ、避難に備えて貴重品などの非常持ち出し品の準備をしておく。

◇最後に

以上の準備は台風が接近するまでに行ってください。

台風が近づいてきたら屋外での作業や、用水路の見回りは大変危険ですから絶対にやめて下さい。大規模な災害が想定される場合には、一人ひとりが「自分たちの身は自分たちで守る」という意識のもと、早めの行動をとってください。また、近所の方とはいざというときに助け合えるよう、普段からコミュニケーションをとっておきましょう。

日本は昔から台風災害を受けてきましたが、昭和以降の台風の中で特に被害の大きかった3個の台風を「昭和の3大台風(※)」と呼んでいます。

これらの台風による大災害は、防災対策が現在ほどしっかりとしていなかったことに加え、そもそも台風自体が強大であったことも原因と考えられます。

というのも、「昭和の3大台風」に匹敵するほどの強大な台風は、沖縄などの離島を除けば40年以上日本列島に接近していないそうです。

しかし何時、こうした過去の台風、もしくは、それを上回る台風が襲来しないとも限りません。常に警戒を怠らないことが大切です。

※昭和の3大台風

- ・室戸台風 昭和9年9月21日 高知県室戸岬付近上陸
- ・枕崎台風 昭和20年9月17日 鹿児島県枕崎付近上陸
- ・伊勢湾台風 昭和34年9月26日 和歌山県潮岬付近上陸

消防士にトライやる

今年も養父・朝来市内の中学2年生を対象としたトライやるウィークがそれぞれ5月29日から6月2日までの5日間、各消防署で実施されました。

この取り組みは、阪神・淡路大震災等を機に、「生きる力」を育むため、職場体験などを通して地域の人々と交流する「心の教育」を目的としています。

朝来消防署には、和田山中学校生2人、朝来中学校生1人の合計3人が、また、養父消防署には、八鹿青溪中学校生4人、大屋中学校生2人、関宮中学校生1人の合計7人が参加しました。

消防署の一日は、職員全員



▲放水の体験(養父消防署訓練場)

が整列しての勤務交替と体操、消防車両、救急車両の点検整備から始まります。

消防業務体験では整列や敬礼等、消防士としての規律や基本動作の習得。実際に筒先を持った放水体験、空気呼吸器を取り扱う訓練、ロープ結索を行いました。

また、各署において火災を想定した消防活動訓練を行った際は、チームワークを発揮し、見事な人命救助を見せてくれました。

救助訓練では、7mの高さから吊るしたロープを腕の力だけで登る訓練や、水平に張った20mのロープを渡る訓練を行いました。また、腕立て伏せや腹筋、ランニング等



▲普通救命講習のようす



▲ロープ渡過訓練(朝来消防署訓練場)

の体力トレーニングでは、自分の体力を振り絞って救助隊員にくらいついていました。

救急業務体験では、心肺蘇生法を行い、人工呼吸や胸骨圧迫等の技術を習得し、命の大切さを学びました。

予防業務体験では、避難訓練や初期消火訓練。また、養父署では養父公民館にて立入検査の見学を行いました。

初日は声も小さく動作も緩慢でしたが、日が経つにつれて徐々に声も大きくなり、節度ある行動が出来るようになりました。

今回のトライやるウィークで得た知識・技術・精神力、そして仲間や命の尊さを今後の人生に活かし、チャレンジ精神を常に持ち、あらゆる分野で活躍してくれることを期待しています。

第15回消防ふれあい祭り

4月23日、イオン和田山ショッピングセンター駐車場で「第15回消防ふれあい祭り」を開催しました。

清々しい晴天となり、朝から多数の親子連れが会場を訪れました。会場では、子供たちに大人気の「はしご車の体験乗車」をはじめ、水消火器を使った「消火体験」や「住宅用火災警報器等の防災物品の展示」などを行いました。

一番人気の「はしご車の体験乗車」には、大勢の親子連れが順番待ちし、開始から大盛況。ヘルメットを被った親子が、消防士と一緒にはしご先端のバスケットに乗り、高



▲水消火器を使用した消火体験



▲消防車両の展示のようす

所からの景色を楽しみました。

「遠くの建物まで見えまして。いつかははしご車の運転手になり、人をたくさん助けたいです。」と、嬉しいコメントを頂きました。

また、間近に見る消防車両に子供たちは興味津々で、積極的に質問をしたり話を聞く姿勢がとても印象的でした。

担当した職員は子供たちの笑顔に癒され、明るい元氣とパワーをもらった一日となりました。今後もこうした行事を通して、地域に密着した防火思想の普及啓発に取り組みます。

林野火災 対応合同訓練

春の火災予防運動期間中の3月5日、生野町真弓地区周辺において、朝来市消防団生野支団及び朝来支団との林野火災対応合同訓練を実施しました。この訓練は、枝葉や枯草等を焼却中に周辺山林へと燃え広がり、更に強風による延焼拡大も予想されるという想定で行われました。

消防団・消防署合わせて車両17台、138名が参加し、有効な火災防御訓練及び遠距離に渡る中継送水訓練などが実施されました。また、現場指揮本部を消防団と消防本部が合同で設置することにより、情報の共有を図ることもできました。



▲林野火災対応合同訓練

続いて3月17日には、生野町柘原地区の段ヶ峰登山口周辺において林野火災が発生したとの想定で、兵庫県消防防災航空隊と合同訓練を実施しました。訓練は、航空隊との連携を深めると共に、情報収集要領及び防災ヘリコプターへの給水要領等を再確認し、効率的・効果的な消火活動の実現を目的に、防災航空隊1機6名と消防署から5台19名が参加しました。

また、防災ヘリコプターによる上空からの映像を地上の現場指揮本部で受信し、火災現場の状況確認などが行われました。今後も、消防団や消防防災航空隊との訓練を重ねると共に、その他関係機関と合同訓練を行い連携強化を図っていきます。



▲航空隊との合同訓練

人命救助者に感謝状

5月11日、谷口宗平さんに對し人命救助による感謝状を贈呈しました。

これは、4月16日、15時頃に発生した建物火災で、自動車を運転していた谷口さんが付近の住宅から煙が出ているのに気付き、早期に119番通報するとともに、火災現場に駆けつけ、逃げ遅れている女性を発見し、抱きかかえて救出した功績によるものです。このたびの谷口さんの勇氣ある行動で火災による被害が最小限にとどめられ、尊い命が守られました。



▲谷口宗平さん(右から2人目)

平成29年度兵庫県 危険物安全・安心大会

危険物安全週間中の6月8

日(木)「兵庫県公館」において、県下地区協会関係者約300名の参加のもと、平成29年度兵庫県危険物安全・安心大会が盛大に行われました。会場では、危険物の保安に

功績のあった事業所並びに危険物取扱者に表彰が行われ、南但危険物安全協会の会員の方が、次のとおり受賞されました。

◇兵庫県危険物安全協会代表 理事表彰

(優良危険物取扱者)

社会福祉法人 但馬福祉園
森 眞介 様
(写真右)

(優良事業所)

特別養護老人ホーム
いくの喜楽苑 様
(写真中央)



養父市婦人防火 クラブの活動紹介

養父市婦人防火クラブ(会長・山崎たみ子氏)は、昨年11月に開催された養父市内の文化祭で、来場者を対象に防災に関するアンケートを実施しました。アンケートの内容は次のとおりです。

【質問1】深夜0時過ぎ、河川増水の避難勧告指示が出た時の行動。

【質問2】地震直後、学校に子供を迎えに行く途中、生き埋めになった人を発見。どのような行動をとるのか。

【質問3】被災時、ペットを避難所へ連れて行くか。

【質問4】避難所生活中、風邪等の疾病が流行。どの様な対策をするのか。

アンケートを終えて山崎会長は、「普段何気なく生活していますが、災害はいつ発生するか分かりません。また、その時の自分の行動に正解はありません。

危機的状況に陥った時、どのような行動を取るのか、みなさんもこの機会に一度考えていただければ幸いです。」と話しておられました。

消防写真館



普通救命講習 (3月13日 但陽信用金庫)

但陽信用金庫の新入職員の皆さんが普通救命講習を受けられました。「強く、速く、絶え間なく」をモットーに胸骨圧迫をされていました。



避難訓練 (2月23日 さわらびライフ)

訓練用の煙を焚き、避難訓練が行われました。ハンカチで口を押さえる等、実際に火災が起きたことを想定して訓練をされていました。



避難訓練 (5月11日 八鹿小学校)

火災を想定した避難訓練が行われました。先生の指示のもと「おはしも」を合言葉に避難されていました。



消防訓練 (5月8日 シーレックス)

避難訓練後、動力消防ポンプを使用して、放水訓練が行われました。多くの従業員の方が操作方法を学ばれていました。



消防訓練 (4月18日 山東自然の家)

避難訓練後、粉末消火器を使用して、実際に消火する訓練が行われました。除々に近づきながら確実に消火されていました。

救急

※件数、搬送人員ともに増加
救急件数は1312件、搬送人員は1169人で、前年と比較すると74件、25人増加しています。

種別	署別	総数	朝来署	養父署
総数		11 (20)	5 (12)	6 (8)
建物		8	3	5
林野		1	1	0
車両		0	0	0
その他		2	1	1

()内は前年件数

火災

※建物火災件数増加

火災件数は両市合わせて11件で、前年と比較すると9件減少しています。建物火災は8件となっております。前年と比較すると3件増加しています。

救助

※件数、救助人員ともに増加
救助件数は27件で、前年と比較すると13件増加しています。その内12件で救助活動を行い、12人を救助しています。

種別	署別	総数	朝来署	養父署	管外
総数		27 (14)	12 (5)	14 (9)	1 (0)
交通事故		14	7	6	1
機械		0	0	0	0
水難		2	1	1	0
その他		11	4	7	0

()内は前年件数

種別	署別	総数	朝来署	養父署	管外
総数		1,312 (1,238)	689 (599)	619 (639)	4 (0)
急病		764	439	325	0
交通事故		81	56	23	2
一般負傷		226	102	122	2
その他		241	92	149	0

()内は前年件数

消防白書

平成29年
1月～5月



社会見学 (5月16日 左:竹田小学校 右:関宮小学校)

今年も多くの小学生の皆さんが消防署の見学に来てくれました。建物4階から救助袋で避難する訓練や訓練用の煙で充満した部屋から避難する訓練、消防車や救急車の見学で道具を触ったりする等、いろんな体験をしました。普段出来ない体験ばかりで大変満足そうでした。



水防訓練 (5月12日 あさがおホール)

台風等で河川が氾濫した際、浸水防止の為に使用する土嚢袋を1人1袋ずつ作製されました。もしもの時に備え、真剣に取り組まれていました。



消防教室 (5月28日 石田区)

クリーン作戦後に消火器取扱い訓練、消火栓を使用した放水訓練が行われました。女性の方も率先して訓練に参加されていました。



消防訓練 (5月23日 オーシスマップ)

避難訓練の後に、訓練用の消火器を使用した訓練が行われました。もしもの時に備えて消火器の操作方法を熱心に学ばれていました。



避難訓練 (5月17日 ドリームワークス)

消防署へ自動的に119番通報される火災通報装置を使用し、通報訓練が行われました。落ち着いて対応がされていました。

火災調査レポート

電子レンジの使い方に注意しましょう！

一世帯に一台は必ずあるといわれている電子レンジ。冷めたおかずや冷凍食品を温めるのにとでも便利です。しかし、全国では最近この電子レンジが原因で発生した火災があります。当消防本部管内では、そのような火災は発生しておりませんが、いつ皆さんの家庭でも発生するかわかりません。一度、次のチェックポイントを見ながら、ご家庭の電子レンジの点検、使用方法を確認してみてください。

① 庫内が食品カス等によって汚れている。

② 加熱のし過ぎで食品を焦がしたことがある。

③ アルミホイル等の金属を加熱したことがある。

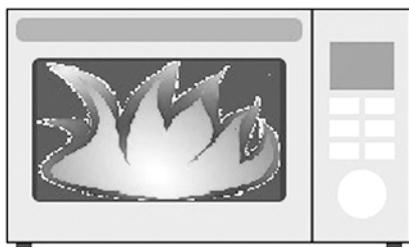
いずれか一つでも当てはまったら出火する危険があります。

電子レンジからの発火の原因の多くは、『庫内の汚れ』、『加熱のしすぎ』です。日頃から庫内の手入れ、清掃を心掛けます。また、加熱する

際は庫内の様子を確認しながら、加熱時間は控えめにしましょう。

それでも万が一、発火・発煙した際は、レンジを停止させ、電源プラグを抜き、扉を開けずに火や煙が収まるのを待ちましょう。慌てて扉を開けると酸素が供給され、火が大きくなるおそれがあります。

最近は、本格的な味が楽しめる冷凍食品も多くあります。ご家庭で楽しい食卓を囲むために、この機会に電子レンジの使用法の確認、点検をしましょう。



お知らせ

INFORMATION

◆41人目の 救急救命士誕生

兵庫県救急救命士養成所での研修を終え、国家試験に合格し救急救命士となった福田大輔消防司令補(34)です。今まで積み重ねた知識や経験に、新たに得た知識・技術を加え、住民の皆様に安心して頂ける救急救命士になるよう、日々自己研鑽に励みます。よろしくお願いします。



◆気象庁長官から感謝状

6月2日、当本部が地域気象観測所の委託観測業務に協力し、気象業務の発展に寄与した功績により、気象庁長官から感謝状を授与されました。

当日は、神戸地方気象台山口気象台長が当本部を訪れ、伝達式が行われました。



◆朝来市医師会から 訓練用AED寄贈

2月に朝来市内の医療機関で構成される朝来市医師会から、訓練用AEDを寄贈していただきました。応急手当の普及啓発のため、大切に使用させていただきます。



◆平成29年度南但消防本部消防職員採用試験を実施します。

●試験職種
消防職

●採用予定人員
5名程度

●試験日

平成29年9月17日(日)

●受付期間

平成29年7月24日(月)

～8月18日(金)

(土曜日・日曜日・祝日は除きます。)

●受付時間

午前8時30分

～午後5時15分

(郵送の場合は、8月18日午後5時15分までに届いたものに限ります。)

※その他詳細については、消防本部管理課にお問い合わせください。

※今年度から南但消防本部ホームページから受験申込書と受験票をプリントアウトすることが出来ます。

編集手帳

「最近ツバメの数がめっきり減ったなあ。」近所の古老の呟きを聞いて、ツバメは害虫を食べる益鳥、巣をする家は栄える、巣や雛に触ると言われた幼少期の記憶を思い出した。

初夏、田植えの終わった水田を飛び交い、軒先で子育てにいそむ姿はこの時期の風物詩。それが、近年様子が違うという。

都心では2年連続でツバメの姿が観測されないとの新聞記事に驚いた。糞や鳴き声を「迷惑」と考え、人が巣を落としたり、巣作りを邪魔したりすることで都市部のツバメが大きく数を減らしているらしい。

「ツバメが、特に屋内や座敷に巣を作るのは最高に良い事、逆に、ツバメは不幸や火災などが起こる家には入ってこないといわれた。」(出所「日本人の縁起とジンクス」と紹介されているように、かつては縁起が良いとされたツバメ。この様変わりをどう思うか聞く術もないが、今日も黙々と雛に餌を運ぶ姿を見て応援したくなった。

夕

ゴローくん



トライやるウィーク
今年の子達もがんばって
ましたね!



そうだなあ。
将来南但消防本部に
来てくれたら
うれしいなあ。

特に、体力錬成の
腕立て伏せなんて
すごかったですよ!

ほーそうか。
それで何回くらい
やったんだ?



35億



なに〜いっ!?

さんじゅうごおく♡

しつこいわ!



おわり

NANTAN 119だより

NANTAN 119だより第13号

2017年7月1日発行 (年3回発行)

■発行・編集

南但消防本部予防課

兵庫県朝来市

和田山町枚田436-1

■TEL 079-672-0119

■FAX 079-672-5046

南但消防本部

